

ARAX news

アラックスニュース 2008年 春号



こんにちは、環境事業を推進する新井総合施設株式会社です。
「君津環境整備センター」をはじめとしたアラックスグループの活動を
皆さまにお知らせすることも私たちの大切な仕事と考えています。

11

TOPIC NEWS

大相撲観戦ツアーが20組に！ 君津環境整備センター感謝祭が盛大に開催されました。



三月九日(日)、大江戸温泉物語「君津の森」アリーナ会場で、「君津環境整備センター」感謝祭2008を開催いたしました。地元の皆様とはこれまで亀山湖上祭やセンターの施設見学会を通して交流させていただいておりましたが、今回はセンター開業四周年を期に、「皆様と一堂に会して二層の親睦を深めさせていただける感謝祭に」と、君津環境整備センター社員はもとよりアラックスグループ一丸となって準備を進めて参りました。

当日は亀山、松丘、久留里を中心に小櫃、市原、君津、木更津から四〇〇名を超える皆さんにご参加いただき、おかげさまで大盛況となりました。このイベントにお越し下さいましたお客様からの声とあわせて、感謝祭2008の様様を写真を交えてご報告させていただきます。



いさつその後、乾杯を経てしばし歓談の時間。当日は、地元の仕出し業者さんをお願いして簡単なお食事をご用意させていただきました。お昼時ともあつて、皆様にぎやかに箸を進めていらっしゃいました。

皆さん二通りお食事がすすんで、会場全体が少し落ち着いたら、ステージ上に軽快なおしやりで人気の夏木ゆたかさんがピンクのジャケットを着てさうそうと登場。会場は割れんばかりの拍手喝采です。夏木さんは千葉県銚子市の出身ということもあり、今回のイベントの司会も、同じ千葉県の地元の催しということでも快く了解していただきました。ご参加いただいた方々の中には、夏木さんのファンも多く、会場全体の雰囲気は後押しされてトークも絶好調。亀山湖の澄んだ水や、久留里の酒造りなど地元の話題で盛り上がり、あつという間に会場全体が一つとな



なつていきました。会場内はお客様と、スタッフを含めおよそ五〇〇人の熱気であふれ、とても上着は着てられない状態です。

今回の感謝祭、三つの催しを地元のボランティアグループにお願いしました。トップバッターは女性と子どもたちを中心とした市原の和太鼓グループ「ふかしろ太鼓」。代表者の泉水栄治さんの奥さまは、松丘地区のご出身です。夏木さんからの紹介の後、「千恵つ子よされ」や「ドラえもん音頭」などの曲にあわせ、四曲の和太鼓の曲打ちを披露して下さいました。軽快な曲に乗せて、バチを空中でくると回転させたり、舞い踊るような振り付けはとても華やかで、心地よい和太鼓の音色が会場全体に響き渡り、感謝祭の会場は文字通り一気に「祭」の雰囲気です。

次は、君津の「仁鳳会(じんほうかい)」の皆さんによる民謡と津軽三味線。様々なコンクールで優秀な成績を収められたとあって、生で聴く三味線と歌声は迫力満点です。北海道のニシン漁をモチーフにした曲「舟漕ぎ流し歌」は、現在小学六年生だという男子の子の伸びのある声に、みんな吸い込まれるように聞き入っていました。

最後は、市原木更津のフラダンスチームです。和風な雰囲気から一変して南の島の情緒たっぷりの衣装を着た若い女性の登場で会場は一気に華やかに。すっかり気分はワイキキビーチです。メンバーにはかわいい子どもたちも多く、ご参加頂いたお客様の中には、つられて一緒にダンスを始めるお子様の姿も見られました。

やあ、いよいよ抽選会！

さて、いよいよ感謝祭2008のメインイベント「大相撲観戦ツアー」が当たる大抽選会です。会場を見回してみると、はやる気

持ちを押し殺せず、抽選券の半券を手に立ち上がってステージに注目されている方もお見かけします。

今回ご用意させていただいた賞品は、「センター賞」として「君津の森ランチ付ペア入浴券」二〇組四〇名様。「アラククス賞」が「大相撲夏場所・両国国技館大相撲観戦ツアー」二〇組八〇名様です。大相撲観戦ツアーはご当選された方他に三名様をご招待します。抽選券は二世帯当り一枚ですが、家族皆さんで白熱の大相撲夏場所をご観戦頂けます。

まず最初に君津環境整備センター、黒岩センター長がセンター賞二〇名様の抽選券を引きました。五〇〇人の眼が一斉にステージの抽選箱に注目。厳正な抽選というのはまさしくこういうことを言うのでしよう。当選者の発表のたびに会場は喜びの声とため息が重なります。

無事に「センター賞」の抽選が終わりました。夏木さんから、「さて、お待たせいたしました、いよいよ大相撲観戦ツアーの抽選です」と声がかかります。中にはまだ当たつてもいないのに「誰と行くかしら」という独り言も聞こえるなど、会場は緊張感に包まれています。抽選はハッピー姿の新井社長です。

「さんびやくさんじゅう番の方はどなたですか？」司会の夏木さんから次々と当選番号が読み上げられていきます。会場からは「社長！当ててよ」との声援。歓声とため息が入り交った「喜・憂」の雰囲気。一番緊張していたのはどうやら新井社長の方でした。

当選者の方々はステージ上で新井社長からの目録の贈呈後、夏木さんの当選者インタビュー。皆さんともうれしそうなお表情です。当選者の皆さんおめでとうございます。

正午にスタートした感謝祭もあつという



間に二時間が過ぎ、お開きの時間になりました。残念ながら抽選にはずれた方にも、ご参加いただいたお礼として地産の「高級卵」二〇個入りパックをおひとりづつ持ち帰りいただきました。

なにぶん地元の皆様を一同にお招きして行うイベントは初めての経験で、会場探しから催し物の内容を考え、そして皆様へのご案内と社員総出で準備してまいりました。当日は皆様にご不自由をお掛けした点が多々あったかとは存じますが真心をこめて精一杯させていただきました。お別れ際に、ポンと肩を叩いて「お疲れさま」と私たちにねぎらいの声をかけていただいたり、多くの方に「また来年もやっつね」とおっしゃっていただきましたこと、とても嬉しくスタッフ一同とても感激した瞬間でした。感謝祭が終わってから、夏木さんから「今回のイベントのお客様は、私と同じ時代を生きてこられた同年代の方々が多く、とても楽しく司会ができました。皆さんいつまでもお元気でとお伝え下さい」とお話をいただきました。



私たちはいつまでも皆様とともに在り続ける地元の企業です。ひと時でしたが皆様の日頃の感謝の気持ちを伝えさせていただく場を設けることが出来たことはこの上ない喜びです。

来年も是非皆様とともに、このお祭りを楽しみたいと思っております。これからもよろしくお願い申し上げます。



COMMUNITY

ご参加いただいた
お客様の声……



●「国技館の升席で相撲を見ると、持ちきれないくらいのお土産をくれるんだろう？」
(という質問が職員に寄せられました。小さい紙袋でお持ち帰りが出来ます)

●「昔はお神輿を担ぐお祭りを地元でもやったもんだがなくなつて以来、これほどの大規模な「集まり」はなくなつたねえ、地元みんなが大勢あつまるっていういいもんだね。」

●「東京の人が考えるイベントだつていうから、もつと堅苦しい会かと思つてました。」(新井総合施設は地元根ざした地元の会社です。)

●「近所の人は、施設見学会に行つたつていつたけど、オレも次は行つてみたいね(ありがたい)とございます。お待ちいたしております。でも見学会には演芸はありませんので……」

●「今日は娘の家族を木更津から呼んで一緒に来ました。」

●「じいさんが外出する予定があるから、あ

し人じゃ心許ないと思つたんで、近所の友達と一緒に来ました。」

●「しかし、アライ、よく集まつたねえ、集めすぎじゃないの」

●「新井社長を始めて見たよ。若けえのにたいしたもんだな」

●「今後も、オタクと会合を定期的に持つべ、自治会でも(新しい役員さんだそうです)」

●「実物の夏木ゆたかはいねえ、サインもらつて帰ろう。」

●「来年も、またやつてよ、せつたい来つからよ」

ARAI'S EYE



代表取締役
新井 隆太

君 津環境整備センターは、地元の皆様に支えていただき、開業四周年をむかえることができました。アラックスグループの事業は、この四年の間で君津センターの最終処分事業のほか、廃棄物の収集運搬事業、そしてコンピューターネットワークによる廃棄物の管理システムの提供といった事業へも広がりました。しかしアラックスグループの事業の原点はあくまでこの地にある処分場です。開業以来、心掛けてまいりましたことは、事業のカタチより、その中身が大切であるということです。中身につきましては、様々なことを地元の方々に教えていただきました。まだまだ足りないことばかりではありますが、今後とも皆様の声を真摯に受け止め、皆様方の大切にされてきた、地域の文化や歴史、習慣を微力ながら共に守って行く事のできる存在として皆様と一層の和合、融和を図らせていただきたく思います。今回の感謝祭、多くの皆様にご参加いただけました事、厚く御礼申し上げます。